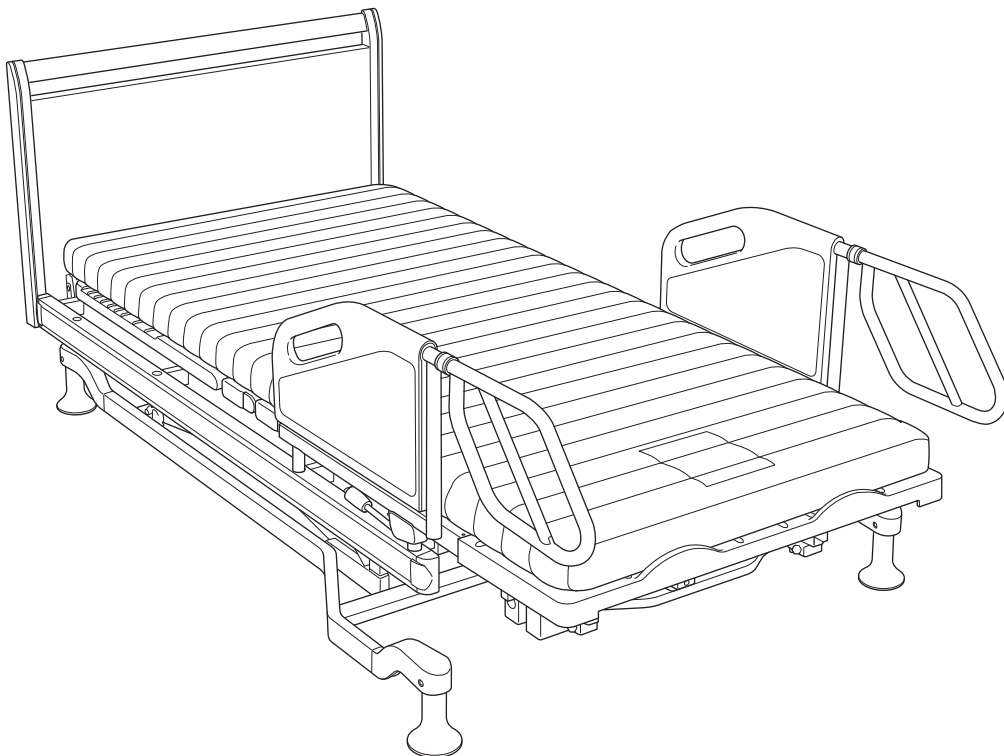


取扱説明書 [使い方]



離床支援 マルチポジションベッド

MPB-SU B30SW MP01 29G
MPB-SU B30SW MP01 30DG



まえがき

このたびはフランスベッドの製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。
この取扱説明書には、製品を安全にご使用いただくための、注意事項と使用方法を記載しています。

- 安全のため、必ずこの取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、所定の場所に保管してください。

ベッド本体以外の取扱商品について

- ベッド本体以外のベッド用グリップ等、オプション品については、オプション品に同梱されている取扱説明書をよく読み、内容を十分理解してから使用してください。
- 取扱説明書を読んだ後は、いつでも必要なときに取り出せるように、ベッド本体の取扱説明書といっしょに、所定の場所に保管してください。






目次

安全のために必ずお守りください.....	3
各部の名称.....	7
ベッドの使用方法.....	9
ベッドを使用する前の準備	9
手元スイッチの操作方法	10
セーフティーキーの操作方法	10
リセット方法	11
専用固定式グリップの使用方法	11
背上げ動作と脚上げ動作の使用方法	12
上下昇降動作（ハイロー機能）の使用方法	12
マルチポジション動作の使用方法.....	13
サイドアップ動作の切り替え方法.....	14
キャスターの使用方法.....	15
ヘッドボードの脱着方法	15
マットレスの着脱方法.....	16
バッテリーの取り扱いについて	17
リフトの利用について	19
サイドレールとベッド用グリップについて	20
仕様	26
お手入れ方法	27
点検	28
消耗部品	30
耐用期間	30
こんなときには	31
コントロールボックスの差込口について	32
停電や故障で背や脚が上がったまま停止してしまったときは.....	33
アフターサービスについて	34
保証書.....	35
お客様相談室	35

安全のために必ずお守りください




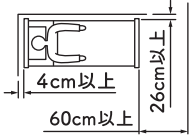






絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、下記の絵表示をしています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから本文をお読みください。




 警告	記載されている内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示します。	 注意	記載されている内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や製品が破損する恐れのあることを示します。
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。(～してはいけません。)		この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。(～しなさい。)
	この記号は、絵表示に対する行為を禁止する内容を告げるものです。		


注意

設置上の注意

	ベッドの組み立て、分解は必ず弊社サービスマン、または販売店におまかせください。 ご自身で組み立て、分解すると重大な事故の原因となります。		ベッドは、周囲の壁や家具などの障害物から離して置いてください。ベッドの周囲にものを置かないでください。 ● ベッドの頭側：4cm 以上 ● ベッドの両側（サイド）：26cm 以上 ● ベッドの足側：60cm 以上 ベッドの動きにより周囲のものを破損したり、事故や故障の原因となります。
	部屋の中でコンセントの位置、家具の引出、扉等の開閉などに支障がないことを確認してください。 ベッドを組み立ててからの移動は困難になります。		
	ベッドは、室内の突起物のない水平な場所で使用してください。 平坦な場所以外、屋外、風呂場などで使用するとガタつき、変形、故障、事故の原因となります。		高温、多湿な場所は避けてください。 反り、曲がり、サビ、カビ発生、破損などの原因になります。
	ベッドの重量に十分耐えられる床の強度を確保してください。また、床の材質によっては、ベッドフレーム設置面が傷つくことがありますので、極力カーペット類を使用して、床面の保護を行ってください。		直射日光やエアコンからの風が直接当たる場所は避けてください。また、ストーブなどの熱器具、および火種になるものはベッドの近くに置かないでください。 変形、変色、劣化、火災の原因になります。
	ヘッドボード、脚部は確実に固定してください。 思わぬ時に外れてケガをする恐れがあります。		電源プラグを差し込む際は、接地型コンセント（3P）に差し込んでください。使用する部屋のコンセントが一般のコンセント（2P）の場合は、3P-2P 変換プラグを使用してください。その際は必ず 3P-2P 変換プラグに付いているアースコードの先端をコンセントのアース端子に確実に接続してください。 接地型コンセントやアース端子に正しくアースされていないと、漏電した際に感電する恐れがあります。






安全のために必ずお守りください








	電源コードの上に重いものをのせたり、コードがベッドの下敷きにならないようにしてください。 コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。
	電源プラグは直接コンセントに差し込み、コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続（たこあし配線）しないでください。 火災の原因になります。
	交流 100V、50 / 60Hz 以外の電源で使しないでください。 火災、感電の原因となります。









	ベッド設置場所の上部に落下物を置かないでください。 地震時などに落下物でケガをする原因になります。
---	--

警告

使用上の注意










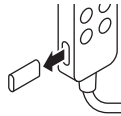


	必ずベッドの仕様に合った、弊社製のサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを使用してください。本取扱説明書に記載されている、適合するサイドレール、ベッド用グリップ、マットレスを確認してください。 他社製品を使用すると、破損してケガをする恐れがあります。また、意図しない隙間の増大により重大な事故の原因となります。
	症状によっては、ベッド操作（背上げ、脚上げ、昇降）をすることにより、症状を悪化させる可能性があります。 使用に際しては、医師の指示に従ってください。
	子供をベッドの近くで遊ばせないよう注意してください。また、子供のいたずらに注意してください。手元スイッチは、子供の手の届かない場所に置いてください。 思わぬ事故の原因となります。
	背上げ操作は、寝ている人の頭がベッドの背上げ側にくるようにして、仰向けに寝た状態で行ってください。 これ以外の姿勢では、寝ている人の身体に無理がかかります。
	手元スイッチでベッドの操作をするときには、使用者やベッド周辺、ベッドの下部、周辺の人やものの安全を確認するとともに、足元等にも注意しながら行ってください。また、なんらかの危険を感じたときには、すぐに操作を中止してください。特にサイドレール、ベッド用グリップを使用の際は十分に注意してください。 人がケガをしたり、ものが破損するなど、事故の原因となります。

	移乗させる際はベッドの高さを適切な高さに調節して使用してください。 思わぬケガをする恐れがあります。
	ベッドの高さは適切な高さに調整して使用してください。端座位姿勢のとれる高さ、もしくは低めの位置での使用をおすすめします。また、付き添いの方がいない場合は、安全のため最も低い位置での使用をおすすめします。 ベッドの高さが合っていないと、乗り降りの際に転倒する恐れがあります。
	手元スイッチのボタン操作が確実にできない人、または身体の状態などの変化により、ボタン操作が確実にできなくなるとされる人には、操作をさせないでください。 誤った操作による事故の原因となります。
	このベッドは大人用です。12 歳以下の子供、新生児、幼児などは使用しないでください。 また取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人は使用しないでください。 思わぬ事故の原因となります。
	ベッドの下や、起き上がったボトムとフレームの間に身体を入れないでください。取扱説明書、注意ラベル、警告ラベルの内容が理解できない人が不用意に使用してしまう事が想定される場合は、挟み込み予防のため手元スイッチの安全スイッチをロックし、操作を禁止してください。 挟まれてケガをする恐れがあります。
	サイドレールやヘッドボードに腰掛けるなど、必要以上の荷重を加えないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。
	ベッドの上で飛び跳ねたり、背上げ状態で立ったり、腰掛けたりしないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。









	使用荷重は最大 2000 N (約 200kg) です (使用者の最大体重は約 170kg です)。体重とマットレスと付属品を含めた荷重が 2000N を超えるときは、使わないでください。 ベッドの破損や重大な事故の原因となります。		ベッド以外の電気機器のコード類 (電源コードなど) をベッドの下や中に通さないでください。 キャスターや可動部にコードが挟まれて破損し、火災・感電の原因となります。
	本製品は 1 人用です。2 人以上で使用しないでください。 重大な事故の原因になります。		ベッドおよびサイドレール、ベッド用グリップは、破損した状態で使用しないでください。 火災や事故の原因となります。
	モーターの定格時間は 2 分です。それ以上は連続して使用しないでください。次に使用する時は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。 故障の原因となります。		サイドレールやベッド用グリップの間から無理に降りたり乗り越えたりすることは絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。
	サイドレールやベッド用グリップのすき間にコード類を入れないでください。 背上げなどベッドの操作をするときに、コード類を挟み、事故や破損の原因となります。		ベッド先端に飛び乗ったり、飛びはねたりしないでください。 破損したり、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

使用上の注意

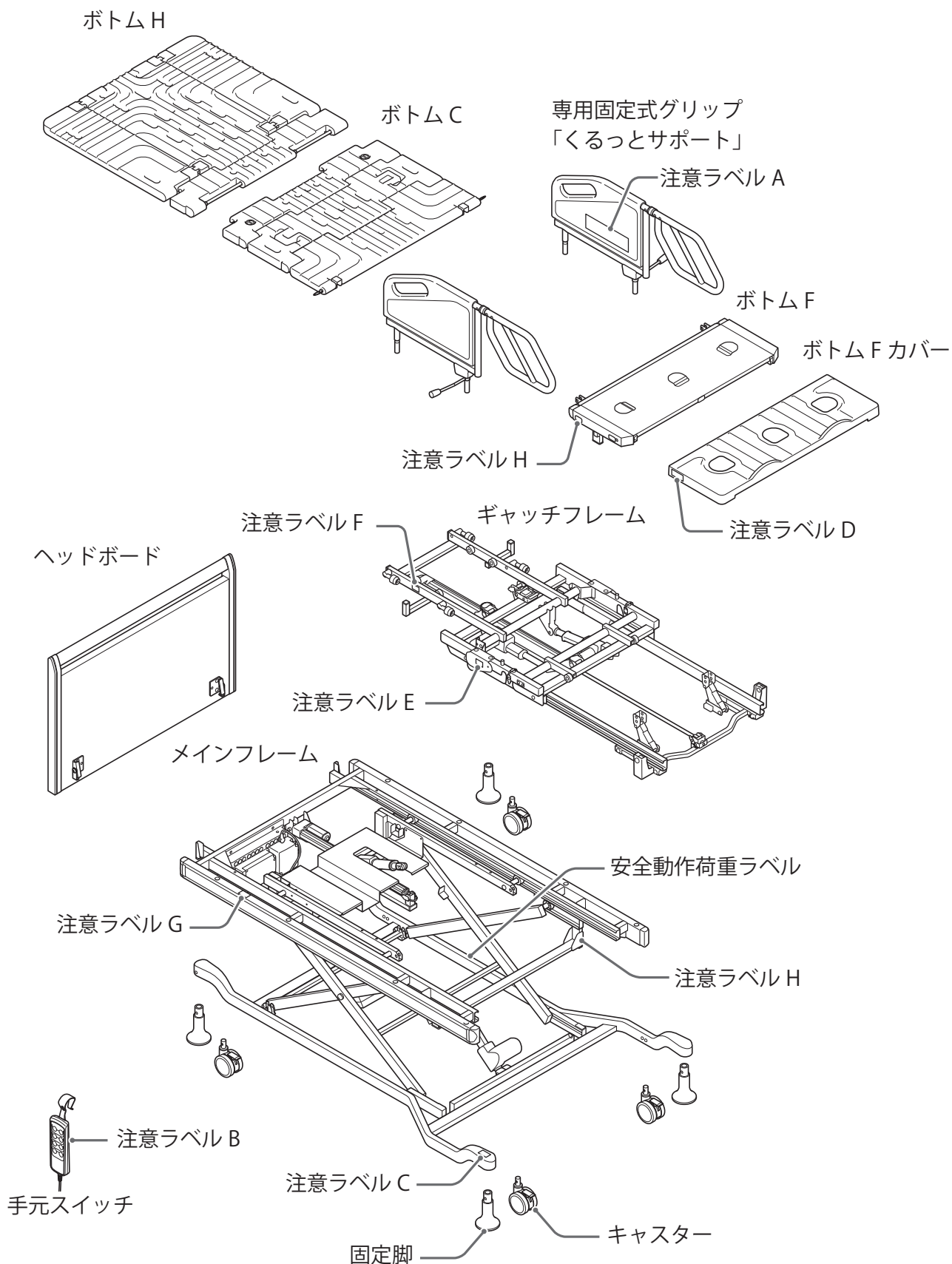
	動作しないなど異常のときは、電源プラグをコンセントから抜き、本取扱説明書の「こんなときには」の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。		手元スイッチのボタンは、必要な操作に合わせて 1 つずつ押してください。 複数のボタンを同時に押したり、不必要なボタンを押すと思わぬ動きをし、乗っている人や周囲の人がケガをする恐れがあります。
	電動操作を長期間行わないときや、停電、雷、地震の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 そのままにしておきますと、事故や故障の原因となります。		手元スイッチを使用しないときは、ヘッドボードの外側やサイドレールやベッド用グリップの外側に掛けてください。 ベッドの上やヘッドボード、サイドレールやベッド用グリップの内側などは無意識に触れて誤動作する恐れがあります。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端のプラグを持って抜いてください。 コードが傷つくと、火災、感電の原因となります。		頭側から介助する場合は、必ずヘッドボードを取り外してから行ってください。 ヘッドボードに負荷がかかり、ベッドが破損する恐れがあります。
	ベッドの周辺を定期的に整理、整頓してください。 ベッドの周辺が乱れていると思わぬケガの原因となります。		操作を禁止する場合は手元スイッチ側面のセーフティーキーを抜いて、操作をロックし、電源プラグをコンセントから抜いてください。 無意識にボタンに触れて誤動作する恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。
	電源コードが傷んだり (芯線の露出、断線など)、動かないなど、異常の時は電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。		
			スタンディング・シーティングポジションにする際は、必ず掛け布団を取り外してから動作させるようにしてください。
			ベッドから降りる際は、なるべく背上げた状態で行ってください。特に足腰に不安がある方はベッド用グリップの併用をおすすめします。

安全のために必ずお守りください

	衣服がめくれ上がった状態で乗り降りしないでください。 ケガをする恐れがあります。
	ベッドの上で、喫煙をしないでください。 破損、火災の原因になることがあります。
	濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。 感電する恐れがあります。
	電源や手元スイッチのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、たばねたり、挟み込んだり、巻きつけたり、加熱したりしないでください。 コードが破損して、火災、感電の原因となります。
	モーターや手元スイッチ、その他の電気部品に水やジュースなどの液体をこぼさないでください。 故障や事故の原因となります。
	手元スイッチのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押したりしないでください。 ボタンが破損するなどの原因となります。
	手元スイッチを落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 故障の原因となります。
	ヘッドボードを持ってベッドを引きずらないでください。 ベッドが破損する恐れがあります。

各部の名称

本製品には下図のように注意ラベルが貼付してあります。ご使用前に注意ラベルの場所と注意の内容を確認してください。



各部の名称

注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示しています。
はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

注意ラベル A	<div> <div> ⚠ 警告 <ul style="list-style-type: none"> ・身体や頭、腕及び足をサイドレールから出したまま、ベッドの操作をしないでください。 ・ベッドを操作する時はフレームに体、手足、指を挟まないように注意してください。 ・サイドレール及びベッド用グリップ、マットレスは必ず取扱説明書に記載のものを使用してください。 ・背上げや脚上げ状態で、背部や脚部に立ったり、腰掛けたりしないでください。 ・このベッドは一人用です。二人以上でお使いにならないでください。 ・幼児や取扱説明書、警告ラベルの内容が理解できない人には操作させないでください。 ・分解、改造はしないでください。 ・座位操作する時は、ベッド下に物が無い事を確認し、寝具等が落下しない様、取り除いてください。 </div> <div> 専用固定式グリップ [GR-MP] 操作・注意内容 着脱の際は固定バーを回転させるとロック、解除ができます。 </div> <div> ⚠ 注意 <ul style="list-style-type: none"> ・固定バーを操作する時は指を挟まないように注意してください。 ・本体の取付は確実に差し込んでいることを確認し、固定バーで確実にロックを行ってください。 ・先端を回転して使用できます。回転時にすき間が生じますので身体や物などの挟まりに注意してください。 ・先端の操作は自重で落下するため、最後までゆっくりと操作をしてください。 </div> </div>
注意ラベル B	<div> ⚠ 警告 <ul style="list-style-type: none"> ◆操作をする前に、ベッドの下部や周囲の安全を確認してください。 ◆操作を禁止する場合や操作しない場合は、安全キーをペン先などで引き出して抜いてください。 型式: MPB-SU B30 SW Part No. ***** Serial No.  ***** </div>
注意ラベル C	<div> ⚠ 注意 足を引っ掛けしないでください。 身体や物を入れないでください。 ケガをする恐れがあります。 </div>
注意ラベル D	<div> ⚠ 注意 下に人や物が無い事を確認してください。 </div>
注意ラベル E	<div> ⚠ 注意 可動部に手を入れないでください。 </div>
注意ラベル F	<div> ⚠ 警告 ○ノブは必ず上下2箇所同じ状態で使用してください。 1箇所だけではベッドが破損する原因となります。 ○ノブを切り替える際は、確実に行ってください。 破損してケガをする恐れがあります。 </div>
注意ラベル G	<div> ⚠ 注意  確実にロックすること </div>
注意ラベル H	<div> ⚠ 注意 指や手の挟み込みに注意してください。  </div>
安全動作荷重ラベル	<div>  = 170Kg  = 200Kg </div>

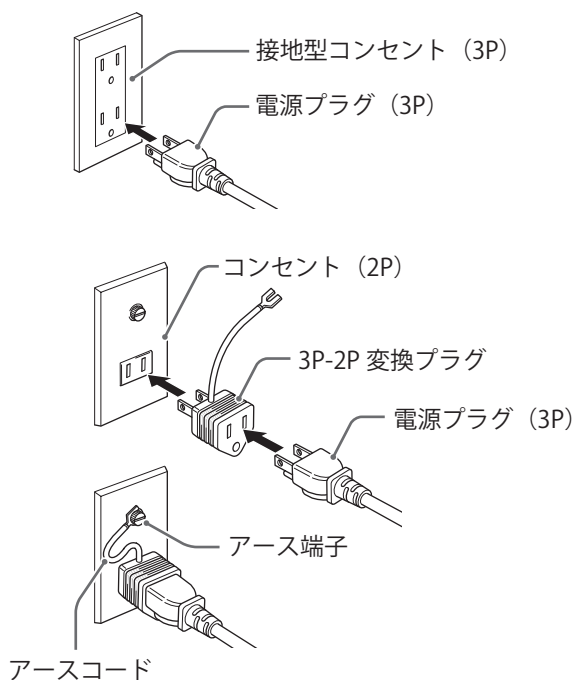
ベッドの使用法

ベッドを使用する前の準備

初めてベッドを使用するときは、以下の準備を行ってください。

- ・ 周囲に障害物のない場所にベッドを設置します。電源コードに十分な余裕をもたせ、電源プラグをコンセントに確実に差し込みます。
- ・ 手元スイッチを押して正常に動作することを確認してください。
- ・ ベッドの動作内でコード類がひっかかっているか、十分な余裕があるか確認してください。

■ 電源プラグの接続について



電源プラグ (3P) を差し込む際は、接地型コンセント (3P) に確実に差し込んでください。

- ・ 接地型コンセント (3P) の場合は、必ず直接接続してください。(3P-2P 変換プラグは使用しないでください。)

- ・ 使用する部屋のコンセントが一般のコンセント (2P) の場合は、同梱されている 3P-2P 変換プラグを使用してください。その際は必ず 3P-2P 変換プラグに付いているアースコードの先端をコンセントのアース端子に確実に差し込んでください。

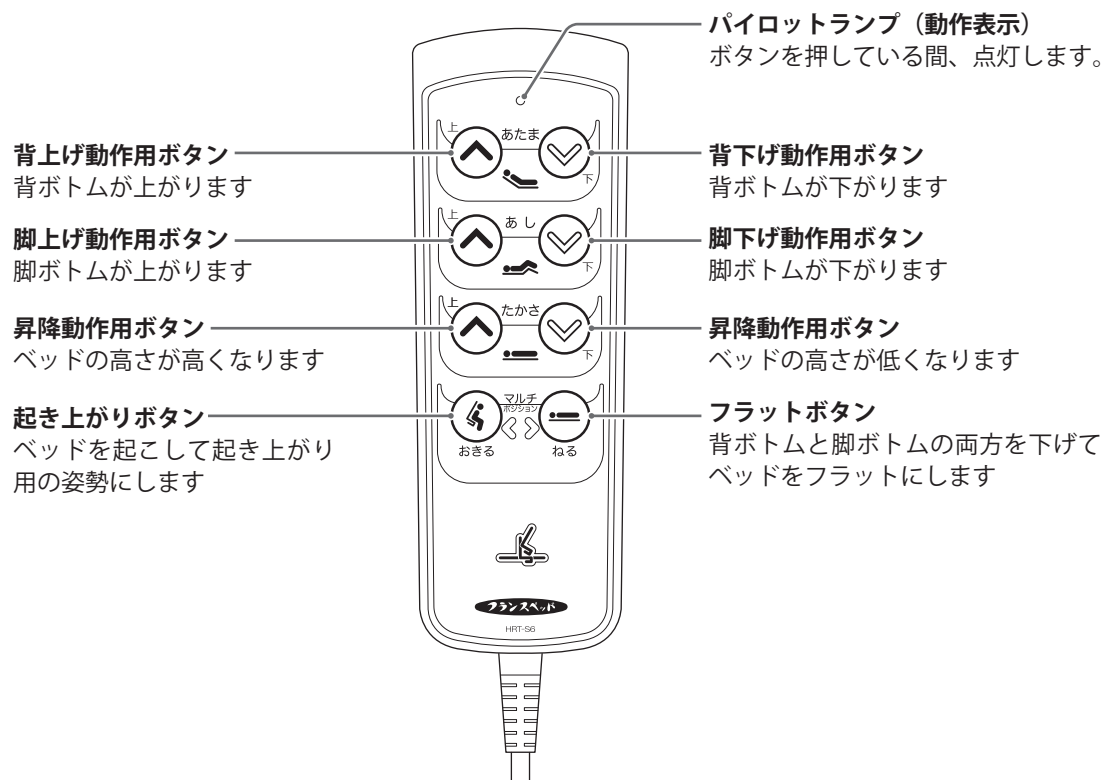
⚠ 注意

⚠	操作をする前にベッドの下や周囲にぶつかったり、挟まったりしそうな人や物がないことを確認してください。特にサイドレール、ベッド用グリップには十分注意してください。
⚠	手元スイッチのボタンは、必要な動きに合わせて1つずつ押してください。
⚠	モーターの定格時間は2分です。それ以上は連続して使用しないでください。安全装置が働き動作しなくなります。動作しない場合は、十分な時間をおき、モーターが冷えてから使用してください。

ベッドの使用方法

手元スイッチの操作方法

ベッドを操作するときは、手元スイッチの各ボタンは1つずつ押してください。ベッドが動きます。

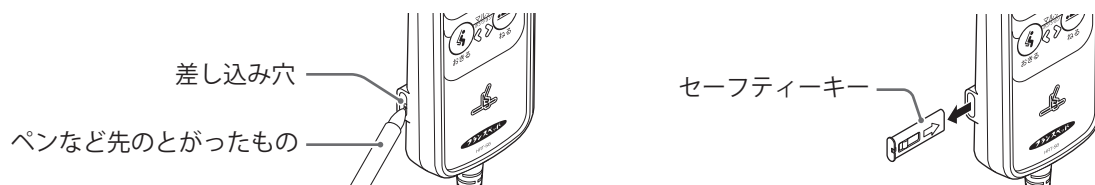


セーフティーキーの操作方法

手元スイッチの側面にあるセーフティーキーを抜くと、手元スイッチによる操作を禁止することができます。

挟み込み予防や、使用者の症状や状態によって危険が想定される場合は、手元スイッチでの操作を禁止してください。

- ・ セーフティーキーは失くさないように保管してください。



リセット方法

手元スイッチで初期設定と意図しない動作や動作不良があった場合に、リセット操作を行います。

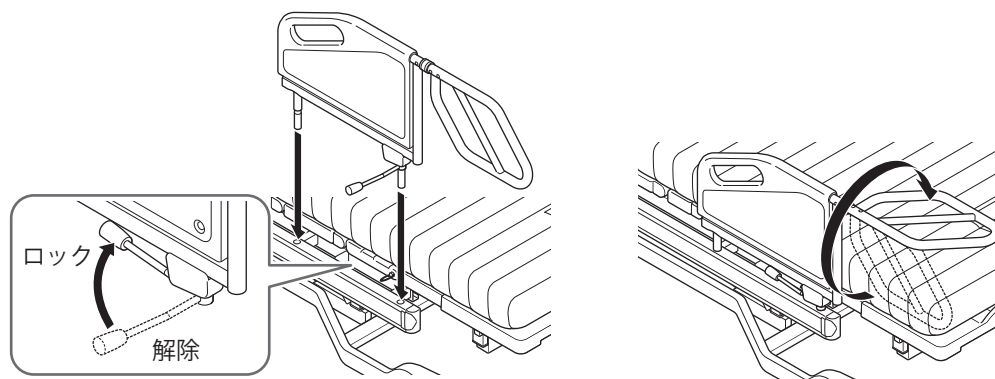
1. 手元スイッチの「あたま」ボタンの△/▽をパイロットランプが3回点滅するまで同時に押し続ける
ベッドの背上げ・脚上げ角度、高さが初期値に設定されます。

⚠ 注意

⚠	セーフティーキーを手元スイッチから抜いている状態ではリセットできません。
⚠	リセットを途中で終了し、通常動作を行うと、意図しない動作をする恐れがあります。必ずパイロットランプが3回点滅し、リセットが完了してから通常動作を行ってください。
⚠	使用中に動作不良や意図しない動作をした場合は、必ずリセット操作を行ってください。
⚠	リセット操作を行う場合は、ベッド脚側に 80cm 以上のスペースが空いていることを確認してから操作を行ってください。通常の動作と異なった動きをします。

専用固定式グリップの使用方法

- ・ 脚側のサイドレール用の取り付け穴に差し込んで固定してください。
- ・ 立ち上がり時には、手すりを回転して使用してください。



- ・ 使用できるサイドレールの組み合わせは、23 ページの「サイドレールとベッド用グリップの組み合わせ」をご覧ください。

⚠ 注意

⚠	立ち上がり時以外は、手すりを元に戻してください。
⚠	専用固定式グリップは、注意ラベルが内側になるようにして取り付けてください。

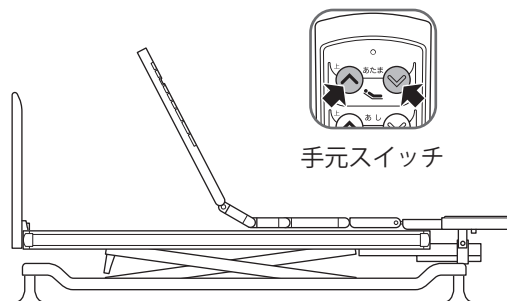
ベッドの使用法

背上げ動作と脚上げ動作の使用法

手元スイッチのボタンを押して、背上げ動作や脚上げ動作を行います。

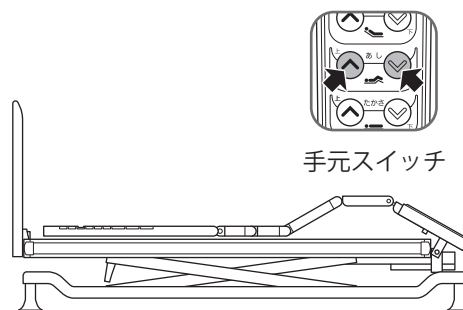
■ 背上げ動作

- ・ ベッドから起き上がりのときに便利です。
- ・ ベッドでの食事、読書等で背もたれとして使用できます。
- ・ 介護する方の負担を軽減します。
- ・ 座位が安定します。(サイドアップ機能を使用した場合。14 ページの「サイドアップ動作の切り替え方法」参照)



■ 脚上げ動作

- ・ 脚がむくんだときや、少し脚を上げたいときに使用します。
- ・ 背上げをするときに先に上げておくと、身体のずれを少なくできます。



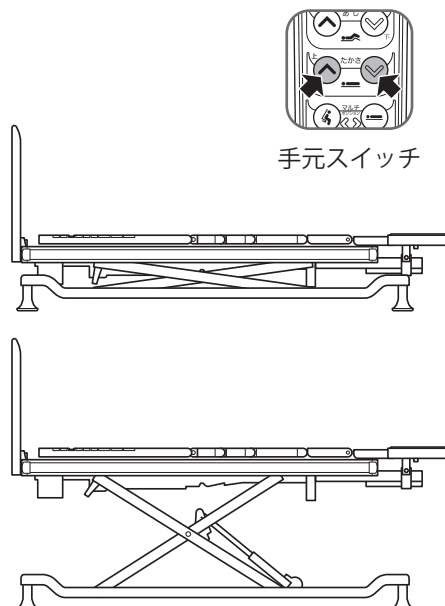
(図は脚部を上げた場合)

上下昇降動作（ハイロー機能）の使用法

手元スイッチのボタンを押して、上下昇降動作を行います。

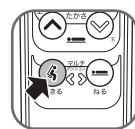
■ 上下昇降動作

- ・ ベッドから立ち上がる高さを調節することができます。
- ・ ポータブルトイレや車いす等に移乗するときに高さを合わせられます。
- ・ ベッドの高さを調節することによって楽な姿勢で介助できます。



マルチポジション動作の使用方法

手元スイッチの「おきる」ボタンを押し続けたままにすると、リクライニングポジション、シーティングポジション、スタンディングポジションの順番でベッドのポジションを変えることができます。元にもどすときは、手元スイッチの「ねる」ボタンを押し続けたままにしてください。



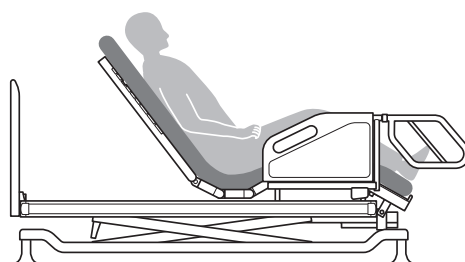
手元スイッチ



手元スイッチ

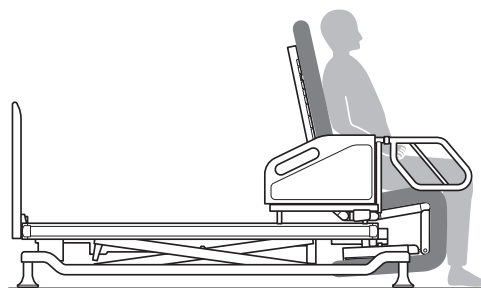
■ リクライニングポジション

- 背上げと脚上げを併用すると、リラックスした姿勢を取ることができ、身体のずれを防ぎます。
- 背ボトムの両側が背上げ動作に連動してベッドの中心に向かって立ち上がり、背上げ動作時の座姿勢を安定させます。(サイドアップ機能を使用した場合)



■ シーティングポジション

- 床板の高さ(35cm~75cm)を調整し、足底を床にしっかりと付けることで、座位を安定させます。
- 背上げ角度(0°~75°)および脚上げ角度(10°~20°)を調整し、サイドアップ機能を併用することで、ご利用者の体幹が安定し、端座位がしっかり取れます。
- 自立支援テーブルもしくはサイドテーブルと併用することによって、座位姿勢で食事を取ることができ、誤嚥リスクが軽減されます。

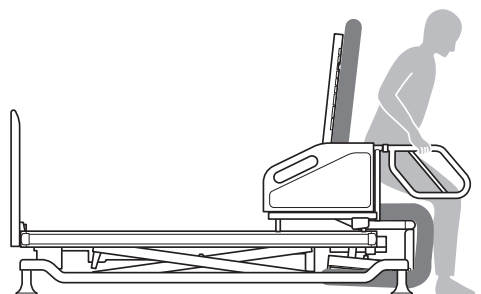


注意事項

シーティングポジションの初期床板高さは 38cm です。それより低くする場合は、マットレが床について汚れる恐れがあります。

■ スタンディングポジション

- 座面が傾斜し、そのまま腰を持ち上げることができるため、立ち上がりの補助ができます。傾斜が心配な方は傾斜なしでも立ち上がりができます。
- 座位から立位が取れる方は、手元スイッチをご自身で操作して座面を立ちやすい角度にすることで、ベッドからの立ち上がりを1人で行うことができます。
- 座位から立位が取れない方を移乗させる際に、介助する方が座面の角度を調整することにより、楽な移乗ができます。介助する方の腰痛予防に繋がります。



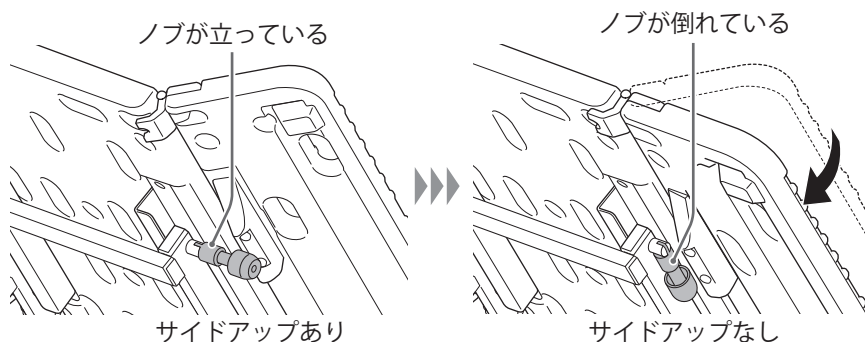
ベッドの使用方法

■ 枕および布団の利用について

- ・ 枕を利用する場合、厚さ 8cm 程度の薄い枕をご利用ください。厚い枕のご使用はシーティングポジションの際の妨げになるため使用しないでください。
- ・ ベッドのご使用中に枕がずれた場合、シーティング動作を正しく行うことができません。枕を元の位置に戻してからベッドの操作をしてください。

サイドアップ動作の切り替え方法

- ・ 背上げ動作に連動するサイドアップ機能により、背上げ動作時に座位を安定させることができます。
- ・ 適当な位置まで背上げを行い、背ボトムの左側または右側を持ち上げながら、ローレットを外側にスライドして、サイドアップ用ローラーを折り曲げます（片側各 2 箇所）。設定が終わったら、背ボトムをゆっくりと下げます。
- ・ 状況に応じて片側のみ使用、または左右両側で使用することができます。

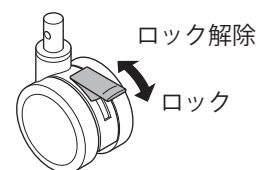


⚠ 注意

	<p>座位補助機能の切り替えを行う際は、必ずノブ上下 2 箇所が同じ向きになるようにしてください。ノブの向きが違うと、事故や故障の原因になります。</p> <div data-bbox="662 1384 1068 1660"></div>
	<p>ノブを立てたり、折り曲げるときは、カラーが最後までスライドしていることを確認してください。中途半端な位置になっていると、外れて事故や故障の原因になります。</p> <div data-bbox="768 1751 963 1910"></div>

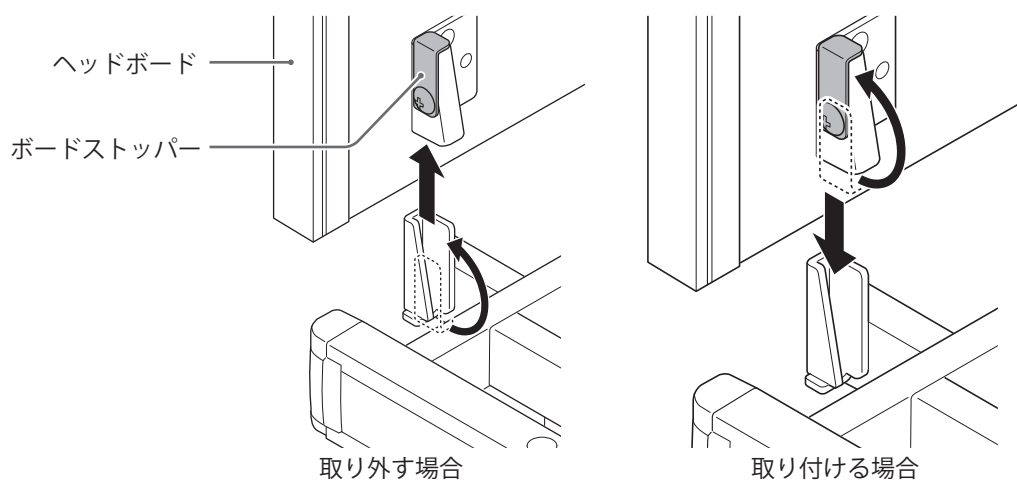
キャスターの使用法

- 4 個のキャスターのすべてにロック機構がついています。
- ベッドを移動しない時は必ずロックしてください。
- ロックした状態でベッドを移動しないでください。



ヘッドボードの脱着方法

ヘッドボードのボードストッパーを上に戻し、手で押さえながら引き上げると、取り外すことができます。取り付ける場合は、ボードストッパーを上に戻した状態で、手で押さえながら他の部品に当たらないように差し込みます。



ベッドの使用法

マットレスの着脱方法

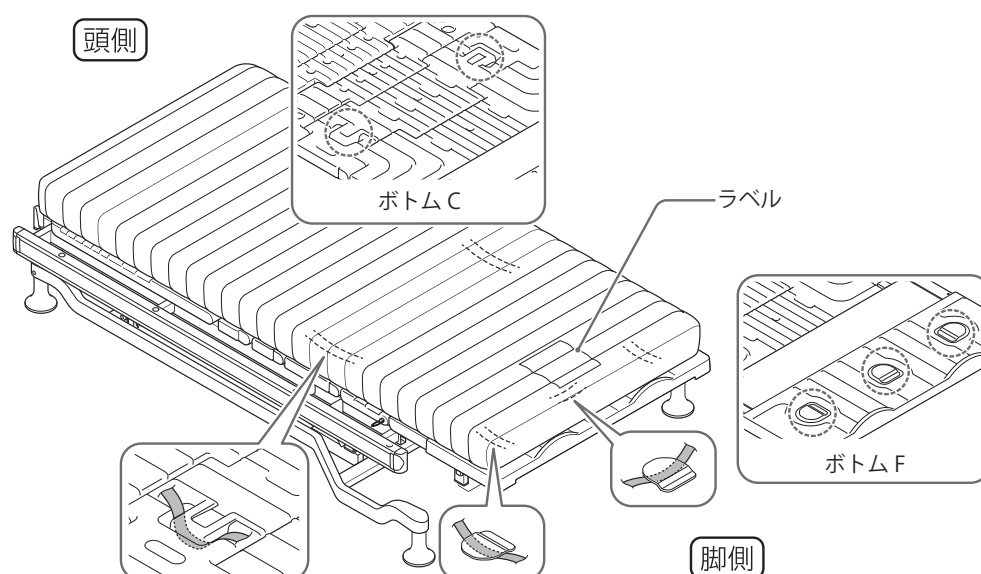
マットレスをベッドに取り付けます。マットレスを取り外すときは、取り付けと逆の手順で取り外してください。

1. ラベルが付いている側を表面にして、ラベルが脚側になる向きでマットレスをベッドに載せる

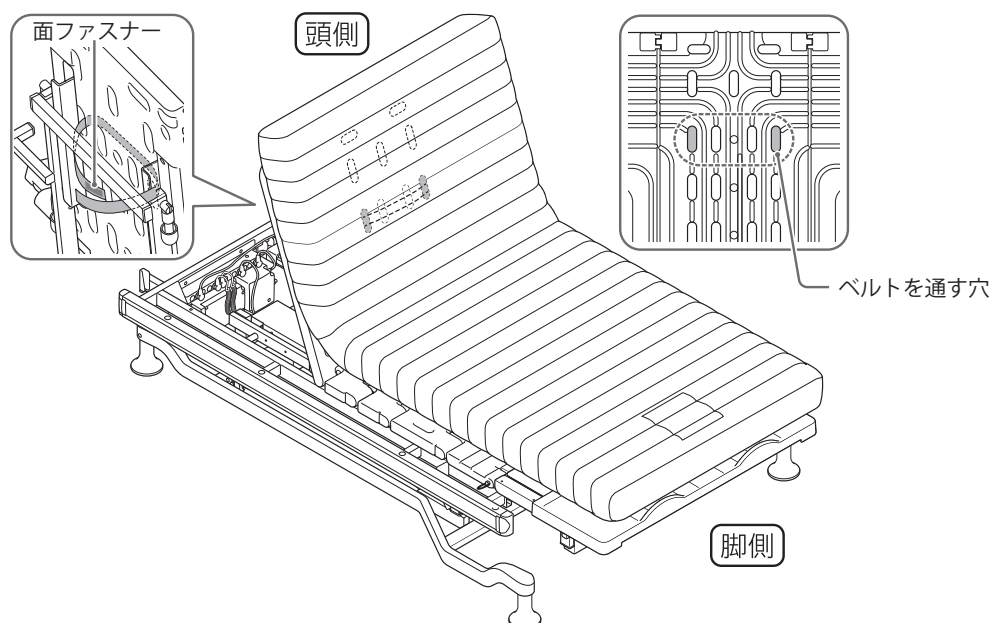
腰部にある左右2箇所のベルトを指で押し込み、ボトムCのフックに通す

脚部側にある左右2箇所のベルトをボトムFのフックに取り付ける

脚部側の中央にあるベルト1箇所をボトムFのフックに取り付ける



2. 背ボトムを手で持ち上げて、マットレスの頭部側にある面ファスナーをボトムHの穴に通してから、貼り合わせる



3. 背ボトムをゆっくりと下ろす



注意





背ボトムを降ろす際は、ゆっくり降ろしてください。



バッテリーの取り扱いについて

- ・ バッテリーは、ベッド頭側メインフレームの裏にあります。
- ・ 停電等により、一時的に電源の供給が途絶えた場合でも、手元スイッチで背部および脚部を水平状態にすることができます。
- ・ 電源プラグをコンセントに差し込むと、自動的に充電が開始されます。
- ・ 使用頻度と使用環境によりバッテリーの寿命は変わります。使用頻度に関わらず 3 年を目安にして交換することをお勧めします。
- ・ 初回使用時および長時間使用しなかったあとで最初に使用するときは、必ず 24 時間以上充電してください。
- ・ バッテリーの交換については、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

警告

	バッテリーから電解液が液漏れした場合は、ただちにベッドの使用を控え、販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。 そのまま使用するとケガや事故の原因になります。
	バッテリーの電解液が液漏れし、衣類や身体に付着した場合は、すぐに大量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。 やけどや重大なケガの原因になります。

注意

	温度、湿度、使用頻度によって、バッテリーの寿命が短くなることがあります。 定期的な点検を行ってください。
	バッテリーに強い衝撃を与えたり、分解をしないでください。 誤った操作をすると液漏れ、感電火災等の事故の原因となります。

■ 充電状態について

充電状態を LED ランプで表示します。

バッテリーの状態	LED ランプ	備考
80% 以上	緑色の点灯	使用できます
80% ～ 25%	緑色の点灯 0.5 秒と消灯 4 秒を繰り返す	使用できます
25% 未満	オレンジ色の点灯 0.5 秒と消灯 4 秒を繰り返す	使用できます
充電中	緑色の点灯 1 秒と消灯 1 秒を繰り返す	充電してください
保護	消灯	すぐに充電してください
故障	オレンジ色の点灯	※

※ LED ランプがオレンジ色に点灯しているときは、ただちにベッドの使用を中止し、販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。

ベッドの使用方法

■ バッテリーの長期保管について

- ・ 長期間ベッドを保管する場合は、6か月毎に点検を行ってください。点検方法については、28 ページの「点検」をご覧ください。
- ・ 長期保管後にベッドを使用する際は、必ずバッテリーを満充電してから使用してください。

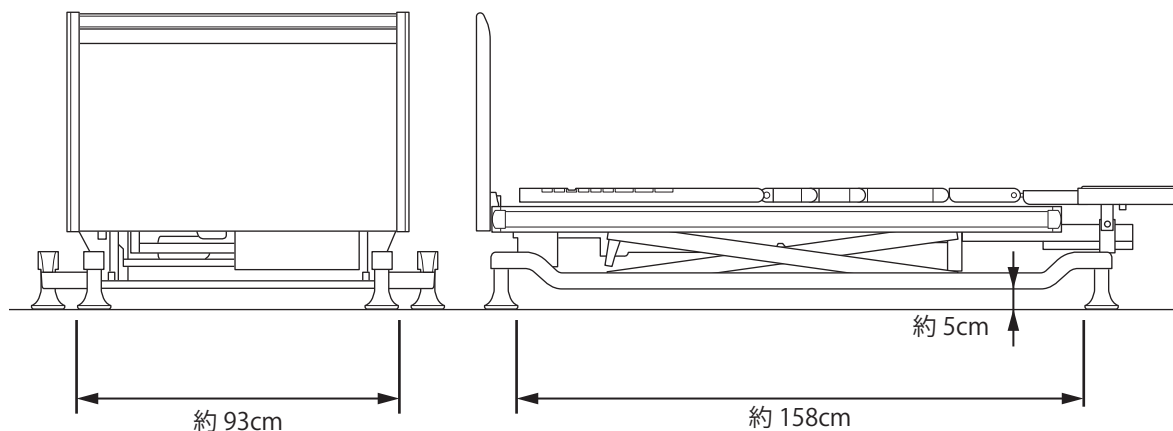
注意



バッテリーの充電を空にした状態で長期保管すると、バッテリーの寿命が短くなることがあります。
長期保管する場合は、必ず定期的な点検を行ってください。

リフトの利用について

- ベッド頭側からリフトをご利用になる場合は、ベースフレームの脚部を逃げる幅は約 93cm です。
- ベッド側面からご利用になる場合は、ベースフレームの脚部を逃げる幅は約 158cm です。床面からの高さは約 5cm です。
- ご利用できないリフトもありますので、販売店にご相談するようにしてください。
- ご利用の際は、リフトに添付されております、リフトの取扱説明書に従ってください。



⚠ 注意



脚側からはリフトを使わないでください。

サイドレールとベッド用グリップについて

■ サイドレールの使用目的

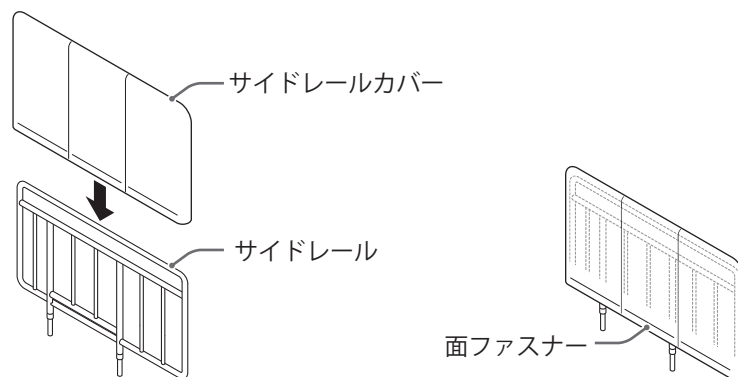
サイドレールは、ベッドからの転落や寝具の落ち止めとして使用します。

■ サイドレールカバーの使用目的

サイドレールカバーは、サイドレールの隙間から頭や手足がはみ出ることを防ぎます。リクライニングポジション、シーティングポジション、およびスタンディングポジションへの移行時に、手足がはみ出ていると危険なため、ご使用者の状態に合わせて、サイドレールカバーを取り付けることをお勧めします。

■ サイドレールカバーの取り付け方法

サイドレールカバーをサイドレールの上から被せ、下部の面ファスナーを貼り合わせて固定してください。

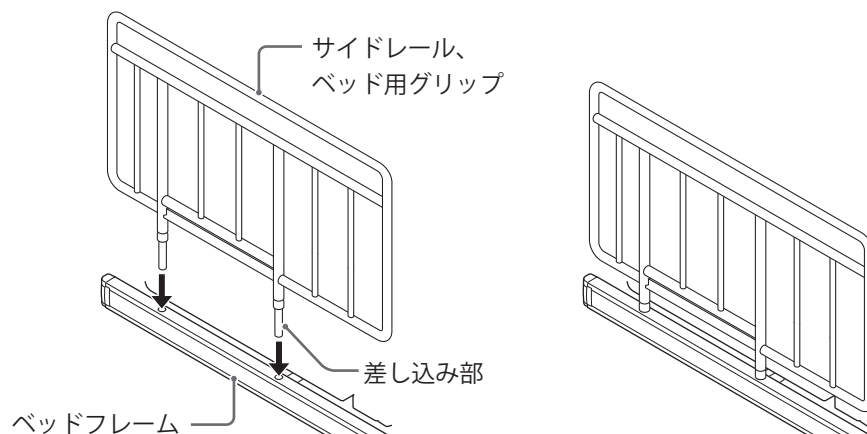


■ ベッド用グリップの使用目的

ベッド用グリップは、転落や寝具の落ち止めに加えて、起き上がり、立ち上がり、移乗などの動作を補助するためのものです。

■ サイドレールとベッド用グリップの取り付け方法

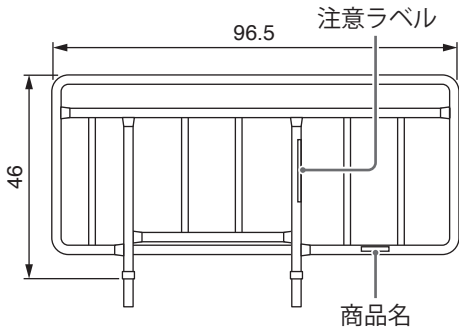
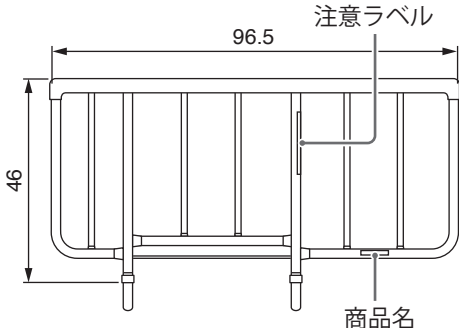
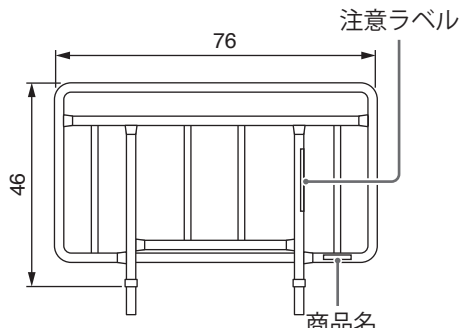
サイドレール、ベッド用グリップはベッドフレームのオプション受けの取付穴に差し込みます。



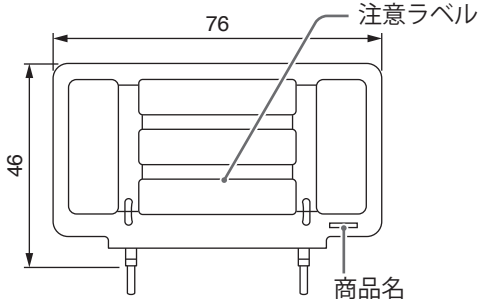
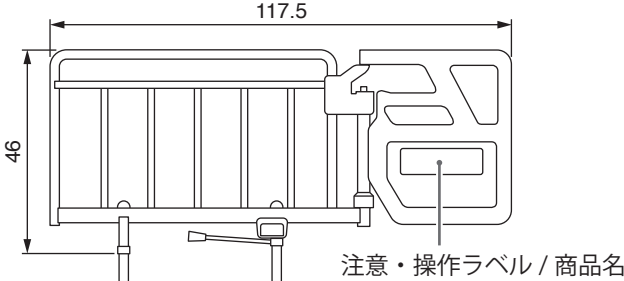
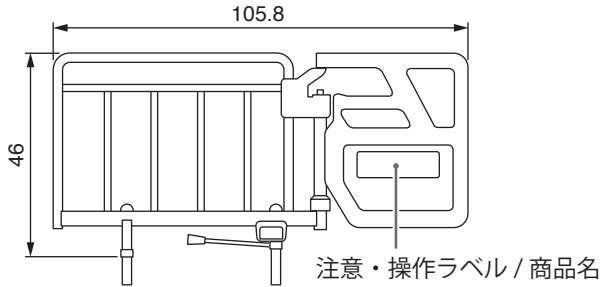
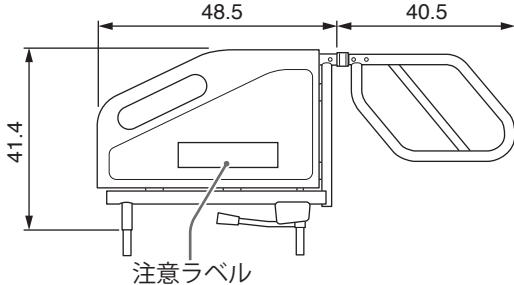
■ 適合するサイドレールとベッド用グリップ

- ・ 本製品に適合するサイドレールとベッド用グリップを以下に示します。
- ・ ベッドのフレームの長さに合わせて、サイドレールとベッド用グリップをご確認ください。
- ・ 商品名をご確認ください。
- ・ 注意ラベルは、注意事項の中で特に注意して頂きたい項目を表示してあります。はがしたり、傷つけたり（汚したり）しないでください。

適合するサイドレールとベッド用グリップ

商品名	形状 / 寸法 (cm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-100JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)
サイドレール SR-106JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.5 (kg)
サイドレール SR-300JJ		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 3.0 (kg)

サイドレールとベッド用グリップについて

商品名	形状 / 寸法 (cm)	材質、塗装、重量
サイドレール SR-300 ウッド JJ		天然木 スチールパイプ ウレタン塗装 エポキシ樹脂粉体塗装 4.0 (kg)
ベッド用グリップ GR-510		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 7.0 (kg)
ベッド用グリップ GR-510S		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 6.0 (kg)
専用固定式 グリップ 「くるっとサポート」 GR-MP		スチール エポキシ樹脂粉体塗装 6.5 (kg)

■ サイドレールとベッド用グリップの組み合わせ

サイドレールとベッド用グリップを並べて使用する場合の組み合わせは以下の通りです。



警告



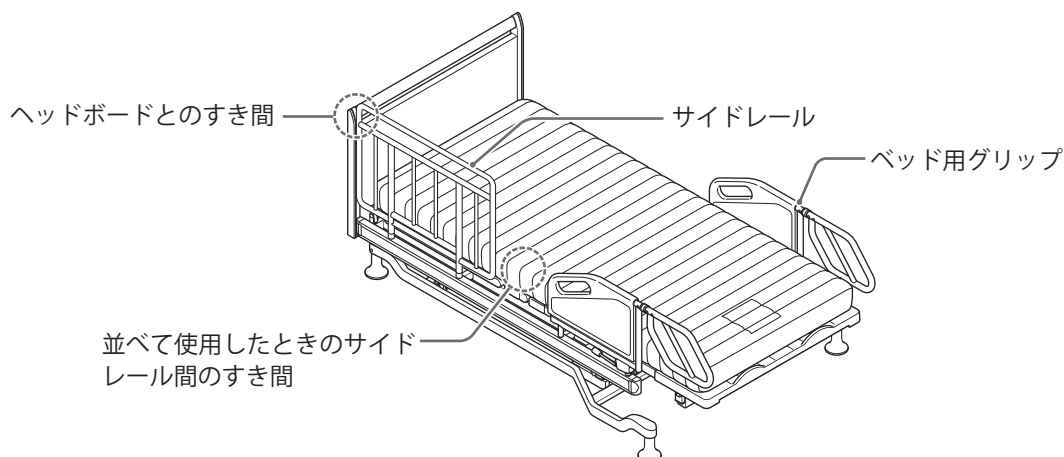
以下の表の「×」は、サイドレールとサイドレール、およびグリップとサイドレールを並べて使用したときに、身体（頭や首など）を挟み込む危険性があるすき間が発生します。「×」の組み合わせでは使用しないでください。

脚側 頭側		なし	サイドレール				グリップ
			SR-100JJ	SR-106JJ	SR-300JJ	SR-300 ウッド JJ	GR-MP
なし		○	○	○	○	○	○
サイドレール	SR-100JJ	○	○	○	○	○	×
	SR-106JJ	○	○	○	○	○	×
	SR-300JJ	○	×	×	×	×	○
	SR-300 ウッド JJ	○	×	×	×	×	○
グリップ	GR-510	○	×	×	×	×	×
	GR-510S	○	×	×	×	×	×

サイドレールとベッド用グリップについて




■ サイドレールとベッド用グリップの注意事項

サイドレールとベッド用グリップの共通の注意事項を以下に示します。











ベッドに設置した場合のすき間に関する注意

⚠ 警告	
!	使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップを乗り越え、ベッドから転落してケガをする可能性があります。 乗り越えないよう注意してください。必ずベッドの仕様にあった弊社製の専用マットレスをご使用ください。 使用者が側臥位（そくがい）の寝姿勢をとったとき、身体の中心線（鼻とへそを結ぶ線）より高くなることを確認してください。 ベッドから転落してケガをする恐れがあります。
!	ベッドとの組み合わせによってはすき間ができます。すき間に身体（手足、首など）を挟まないように注意してください。 身体や首などが挟まり抜け出せなくなり、身体の障害や生命にかかわるケガをする恐れがあります。 また、使用者の病状や症状に応じてサイドレール、ベッド用グリップには安全グッズや毛布、クッションなどを合わせて使用することをおすすめします。特にご自身で体位を保持できない使用者には十分注意してください。
!	サイドレールやベッド用グリップへの寄りかかりや、身体の圧迫には注意してください。 サイドレールやベッド用グリップへ寄りかかると身体が圧迫されて、傷害や生命の危険にかかわるケガをする恐れがあります。
!	サイドレールやベッド用グリップを1本で使用（ベッドの片側での使用）する際はベッドとのすき間が大きくなる場合がありますので注意してください。特に身体を保持できない使用者には注意してください。サイドレール、ベッド用グリップをベッドの片側にのみ差した場合、背上げをしたマットレスとサイドレール、ベッド用グリップのすき間に身体がはさまれる可能性がありますので注意してください。
!	落下防止のため、専用のサイドレールの使用をお勧めいたします。また、落下する可能性の大きい使用者には、側面全体をサイドレールでおおうなどの方法が有効です。
!	使用者の就寝時にサイドレール、ベッド用グリップを使用する場合、「サイドレール、ベッド用グリップが立っています。」と声を掛けてください。 使用者によってはサイドレール、ベッド用グリップの存在を忘れる方がいます。就寝前にサイドレール、ベッド用グリップがある事を認識させてください。
!	ベッドからの乗り降り時にはサイドレール、ベッド用グリップに注意してください。ベッドからの乗り降り時には足場を確保し、ゆっくりと確実に行動してください。 衣服によっては、転倒、転落した際にサイドレールやベッド用グリップに引っかかり重大事故となる恐れがあります。

	サイドレールやベッド用グリップの上に立ったり、腰掛けたりして無理な力を加えるような異常な使い方はしないでください。また、サイドレールやベッド用グリップをまたいでベッドの乗り降りをしないでください。 破損や転倒、転落をして事故の原因となります。
	サイドレールやベッド用グリップのすき間に身体（手足、首など）を入れないでください。背上げなどベッドの操作をするときに、挟まれる可能性があります。 特にベッド上で予測できない行動をとる可能性がある方や、自力で危険な状態から回避することができない方などには注意してください。また、こういった方に使用する際は、事故を防止するために、すき間をクッション材や毛布などで埋めてください。清拭やシーツ交換の際も、使用者の手、指の挟み込みに注意してください。挟まれてケガをする恐れがあります。
	乳幼児には使用しないでください。乳幼児には必ず乳幼児専用のベッドを使用してください。 サイドレール、ベッド用グリップの格子のすき間から転落する恐れがあります。

⚠ 注意

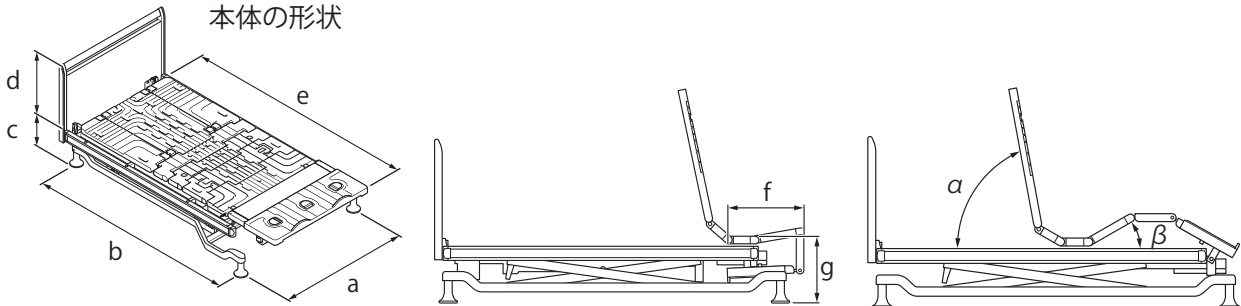
	サイドレール、ベッド用グリップをベッドに取り付けるときは、必ず2箇所とも差し込んでください。固定が不十分だと、グラツキが発生し事故の原因となります。
	サイドレールの抜き差しは無理せず平行に行ってください。 無理に抜き差しを行うと、破損の原因となります。
	長期間の使用等により差し込み部分がゆるくなり不安定になった場合は販売店または弊社お客様相談室に連絡してください。 ぐらついたまま使用していると恐れ事故の原因となります。
	座位が保てない方のご使用は注意してください。 背上げをした状態で座位を保持することが困難な方がサイドレール、ベッド用グリップに倒れ込むことにより頸部（けいぶ）圧迫による重大事故の原因となる場合があります。
	サイドレールやベッド用グリップを持って、ベッドを移動するなど無理な力をかけないでください。 過大な力が掛かり変形、破損の原因となります。
	本取扱説明書で指定された以外の組み合わせで使用しないでください。
	お客様による修理、改造は絶対にしないでください。修理は、販売店または弊社お客様相談室に依頼してください。 恐れ事故の原因となります。
	恐れケガをしないように、製品に異常がないか定期的に点検してください。

■ サイドレールとベッド用グリップのメンテナンス情報

サイドレールおよびベッド用グリップに下記の異常が見られた場合、ただちに使用を中止し、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。

- ・ 差込部分が異常にぐらぐらする。
- ・ ベッドから容易に外れる。
- ・ 移動バーが正しく固定できない。
- ・ 固定を解除できない。
- ・ そのほか異常と思われる場合。






仕様







電気定格	定格電圧	AC100 V
	定格周波数	50 / 60 Hz
	定格消費電力	265W（連続使用時間 2 分）
バッテリー	種類	鉛蓄電池
	容量	2.0Ah
ベッド寸法	a：幅（最大外形寸法）	固定脚：120cm / キャスター：130cm
	b：脚間の長さ （脚部の取り付け位置の距離）	175cm
	c：ボトムの高さ （床からボトム上面まで）	35 ～ 75cm（固定脚使用時） 35 ～ 75cm（キャスター使用時）（ストローク：40cm）
	d：ボトム上面からヘッドボード （フレーム）の上端まで	51cm
	e：長さ（最大外形寸法）	206cm
	f：座面の奥行き	38cm
	g：シーティングポジションの高さ	35 ～ 75cm
背部、 脚（ひざ）部	α：背部の最大傾斜角度	75 度
	β：脚（ひざ）部の最大傾斜角度	20 度
<p>本体の形状</p> 		
材質	フレーム	鋼管、鋼板、アルミ エポキシ樹脂粉体塗装 樹脂成型品
	ボトム	ポリエチレン樹脂
重量	固定脚	約 141kg
	キャスター	約 144kg
電源コード長さ		コントロールボックス出口より 4.0m
脚部	固定脚	取り付け高さ 12cm 樹脂成型品
	キャスター	取り付け高さ 12cm キャスター径 10cm 樹脂成型品
最大利用者体重		1700N（約 170kg）
安全使用荷重		2000N（約 200kg）
マットレス	型式	MPM-10F MPT-10B
騒音		80dB(A) 以下（※ JIS T9254 9.9 騒音試験により測定）

マットレスや付属品の合計重量が 20kg を超える場合は、使用者の体重との合計が 200kg 以下で使用してください。ただし、使用者の制限体重は 170kg です。

お手入れ方法

ベッドをお手入れするときは、下記に注意して行ってください。

 警告	
	お手入れの前には、電源プラグをコンセントから抜いてください。 感電する恐れがあります。
	電源プラグにホコリが付着しないように、定期的にコンセントから抜いて、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。 電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。
	お手入れの際、直接、水をかけて洗わないでください。 感電、異常動作の原因になります。
	ご自身で分解、修理、改造はしないでください。 火災、感電、異常動作の原因になります。

 注意	
	定期的に点検を行ってください。ネジ類がゆるんでいる場合は締めなおしてください。また、破損状態での使用を避けてください。 事故の原因となります。
	ベッドを保管するときは、背ボトムと脚ボトムを平らにし、ベッドを一番低い位置にしてください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。 下げた位置で保管しないと故障の原因となります。
	汚れを拭き取るのに、シンナー、ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤を含んだものおよび、研磨剤、漂白剤などは使用しないでください。市販のクリーナーを使用するときは、一度目立たない所で試してから使用してください。 変色、変質、商品を傷める原因となります。
	高温、多湿、ほこりの多い場所で保管しないでください。 故障の原因となります。
	ベッドは横に倒したり、立てかけたりしないでください。 事故や故障の原因となります。

- ・ ベッドフレームは、乾いた柔らかい布で拭いてください。しつこい汚れがある場合は、家庭用クリーナー、または石鹼水で拭き取り、その後で乾いた布で拭いてください。揮発性のものは絶対に使用しないでください。変質、変色の原因となります。
- ・ ベッドフレーム（木製部分含む）は水拭きせず、乾いたやわらかい布で拭いてください。
- ・ ネジ類がゆるんでいないかどうか、時々確認してください。ゆるんでいたら、締めてください。
- ・ 手元スイッチを清掃するときは、必ず電源を抜いてください。溶剤や、洗剤の原液を使用せずに、中性洗剤を薄めて硬く絞った布で拭いてください。十分乾燥時間をおいた後に電源プラグをコンセントに差し、必ず動作確認を行ってください。

点検

長期にわたり使用する電動ベッドとサイドレール等の付属品の本来の性能を維持するには、適切なメンテナンスが必要になります。日頃の点検を行い、適切な管理をお願い致します。多くの部品の集まりであるベッドは、使用するにつれてその時間の経過とともに部品の劣化や磨耗が進みます。点検を行うことにより、安心して使用することができます。

■ 外観点検項目

目視あるいは手で外観の傷や変形などを確認する点検です。

- ・ ヘッドボード、ボトム、脚部、サイドレール、ベッド用グリップまたはキャスターに異常がないか確認します。
- ・ ネジ、ピン、抜け止め部品などが確実に取り付けられているか確認します。
- ・ ラベルが貼り付けられているか、取扱説明書が保管されているか確認します。
- ・ 電装部品（手元スイッチ、モーター、バッテリー）のコードやケースに損傷があるかを確認します。

■ 作動点検項目

本体をコンセントに接続し手元スイッチにより各種動作を行います。

- ・ 表示（ランプ）は仕様どおり点灯するか確認します。
- ・ 機能どおり動作するか確認します。
- ・ 動作時に異音の発生がないか確認します。

■ バッテリー点検項目

バッテリーが正常に動作するか、交換時期にきているかを確認する点検です。

ベッド使用時

- ・ コードやケースに損傷がないかを確認します。
- ・ 電解液が液漏れしていないかを確認します。
- ・ 充電状態を示す LED ランプを確認します。（頭側ベースフレーム裏）
- ・ コンセントから電源プラグを抜き、任意のポジションから手元スイッチで操作して、水平状態に戻るか確認します。

長期保管時

- ・ コードやケースに損傷がないかを確認します。
- ・ 電解液が液漏れしていないかを確認します。
- ・ 6 か月毎にバッテリーの動作確認をします。コンセントに電源プラグを差し込み、充電します。その後、コンセントから電源プラグを抜き、任意のポジションから手元スイッチで操作して、水平状態に戻るか確認します。

停電時にバッテリーで動作させるため、定期的な点検をお勧めします。電源プラグを抜き、手元スイッチを操作して水平にならなかった場合は、バッテリーの寿命です。販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせいただき、バッテリーの交換を依頼してください。

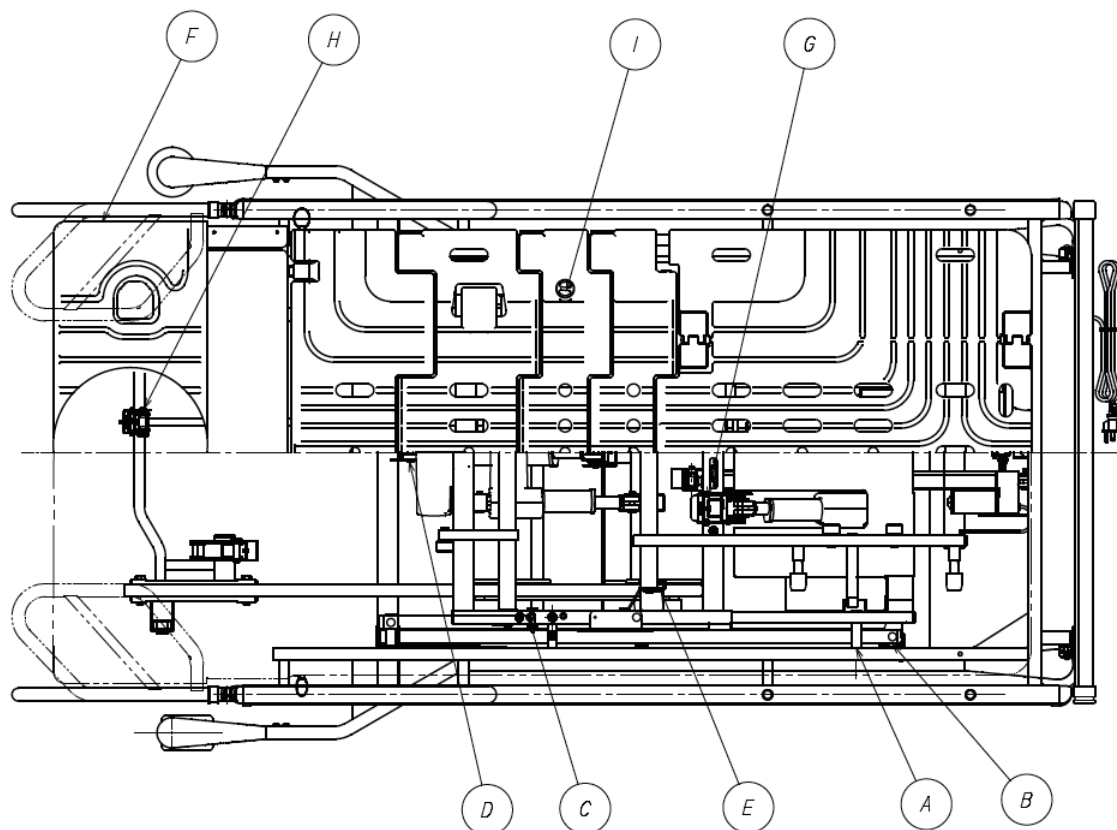
ご自身による交換、修理等は絶対に行わないでください。

ベッドの使用や点検時に不具合を発見されたときは、ベッドの使用をただちに中止し、速やかに販売店または弊社お客様相談室にご連絡いただき、修理を依頼してください。

ご自身による故障の修理等は絶対に行わないでください。

■ 点検および調整

長期にわたってより安全にご使用頂くために、以下の項目の点検・調整を行ってください。



グリスアップ

可動部にグリスを塗ります。基本的に異音が発生しなければ、その必要はありません。

- (A) オレンジローラー部の回転軸（12箇所）
- (B) ハイローフレームとハイローブラケットを接続しているピン（2箇所）
- (C) ハイローピン
- (D) モーターを接続しているピン

ネジ等の点検

使用条件によってはネジがゆるみ、ベッドがぐらつくことがあります。以下のネジ部を点検してください。

- (E) 背上げ、脚上げを行うピンをとめているネジ（4箇所）
- (F) ボトムFに取り付けてあるスライド蝶番を固定しているネジ（4箇所）
- (G) 腰上モーターの調整ダイヤル（1箇所）
- (H) 引込モーターの調整ダイヤル（1箇所）
- (I) ボトムCを固定している化粧ネジ（2箇所）

コードの確認

各種コードが傷んでいないか確認してください。

消耗部品

ベッドは保守部品と消耗部品で構成されています。保有期間は製造販売終了（中止）後 8 年です。このベッドの主な消耗部品は以下の部品です。使い方によっては、使用期間が短くなることがあります。

部品名称	想定される故障の原因
手元スイッチ（コードを含む）	<ul style="list-style-type: none">・ サイドレールに巻き付けるなどしてコードに想定以上の荷重が加わったため、コードが断線する。・ 床に落とした状態で引きずったため、コードが断線する。・ コードを踏んだため、コードが断線する。・ 指以外で操作したため、手元スイッチが破損する。
電源コード	<ul style="list-style-type: none">・ 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、コードが断線する。・ 電源コードをコンセントにつないだ状態でベッドを移動したため、電源プラグが破損する。
各種ピン類	<ul style="list-style-type: none">・ 想定以上の荷重の繰り返しや油切れのため、各種ピン類が磨耗する。
キャスター	<ul style="list-style-type: none">・ ロックを掛けた状態でベッドを強制的に動かしたため、キャスターが破損する。・ 移動中にブレーキ代わりにロックを使用することによりロック機構が破損する。
バッテリー	<ul style="list-style-type: none">・ 通電しないで設置したままにすることにより劣化する。

耐用期間

耐用期間とは消耗部品の交換や修理を繰り返し行うことで品質、安全性が維持できる期間です。指定された保守点検を実施し、指定された使用条件下で使われた場合の耐用期間は 8 年です。但し保守点検状況により差異が生じることがあります。

耐用期間は保証期間ではありません。

こんなときには

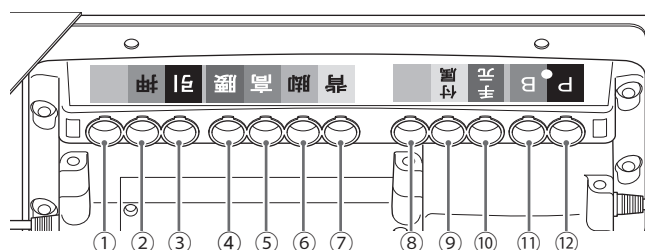
ベッドが動かない場合は、修理を依頼する前に、もう一度以下の項目をチェックしてください。チェックしても正常に動作しない場合は、ただちにベッドの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または弊社お客様相談室に修理を依頼してください。使用中に動作不良や意図しない動作をした場合は、必ずリセット操作を行ってください(11 ページの「リセット方法」参照)。

症状	チェック項目	対処方法
手元スイッチのボタンを押してもベッドが動かない。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。 コンセントに差した直後は動かないことがあります。30 秒待ってから操作してください。
	コントロールボックスの正しい位置にコネクタが奥まで差し込まれていますか？	手元スイッチコードのコネクターなど、すべてのコネクターを正しい差込口に奥まで差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコードは破損していませんか？	電源コードや手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。修理を依頼してください。
	手元スイッチの側面にあるセーフティーキーが外れていたり、抜けかかっていますか？	セーフティーキーを確実に差し込んでください。
マルチポジションボタンの操作のみができません。	コントロールボックスの正しい位置にコネクタが奥まで差し込まれていますか？	各種のコネクターを正しい差込口に奥まで差し込んでリセット操作をしてください。
操作中に動作が停止する。	コントロールボックスの差込口にコネクタが正しい差込口に奥まで差し込まれていますか？	各種のコネクターを正しい差込口に奥まで差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコード、モーターのコードは破損していませんか？	電源コード、手元スイッチのコード、モーターのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーのコネクターを抜き、修理の依頼をしてください。
ベッドが昇降しない。	ベッドの周囲に障害物がありますか？	障害物を取り除いてください。
	ベッドが過負荷になっていませんか？	安全使用荷重を確認して使用してください。
ボトムが水平にならない。	ボトムとメインフレームの間に掛け布団や毛布などが挟まれていますか？	ボトムを少し持ち上げ、挟まれた物を取り除いてください。
ベッドがガタつく。	腰上モーターと引込モーターの調整ダイヤルがゆるんでいますか？	調整ダイヤルを確実に締めてください。
	ヘッドボードは正しく取り付けられていますか？	ヘッドボードを正しく取り付け直してください。
	抜けているストッパーピンなどはありませんか？	抜けているストッパーピンなどがなければ確認してください。抜けている場合は、確実に差し込んでください。

症状	チェック項目	対処方法
ベッドの動きが正常でない。	ベッドは確実に組み立てられていますか？	販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。
	コントロールボックスの正しい位置にコネクタが奥まで差し込まれていますか？	各種コネクタを正しい差込口に奥まで差し込んでください。
	電源コード、手元スイッチのコード、モーターコードは破損していませんか？	電源コードや手元スイッチのコードがつぶれていたり、被覆が破れていると危険です。電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーのコネクタを抜き、修理の依頼をしてください。
ベッド昇降時に異音がある。	ベッドを操作する部屋の温度は何度ですか？ 温度が著しく低い場合、昇降動作のときに昇降用モーターから音が発生する場合があります。	ベッドを操作する部屋の温度を常温（15～35℃）にしてください。 また、気温の低い場所から、移動した際などは、昇降動作を2、3回繰り返すと音がしなくなります。

コントロールボックスの差込口について

コントロールボックスの差込口につなぐユニットは以下のようになります。
コントロールボックスの差込口のラベルの色とコードについているリングの色が合うようになっています。

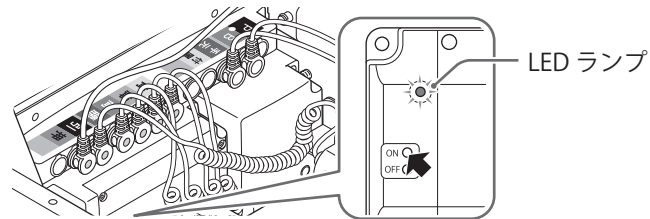


差込口	ラベル	接続する機器
① 差込口	—	使用しません。
② 差込口 押	オレンジ色のラベル	押し出しモーターとつなぎます。
③ 差込口 引	黒色のラベル	引き込みモーターとつなぎます。
④ 差込口 腰	赤色のラベル	腰上モーターとつなぎます。
⑤ 差込口 高	水色のラベル	リフトモーターとつなぎます。
⑥ 差込口 脚	緑色のラベル	脚上げモーターとつなぎます。
⑦ 差込口 背	黄色のラベル	背上げモーターとつなぎます。
⑧ 差込口	—	使用しません。
⑨ 差込口 付属	黄色のラベル	オプションの手元スイッチをつなぎます。
⑩ 差込口 手元	赤色のラベル	手元スイッチをつなぎます。
⑪ 差込口 B	水色のラベル	バッテリーをつなぎます。
⑫ 差込口 P	黒色のラベル	電源ユニットをつなぎます。

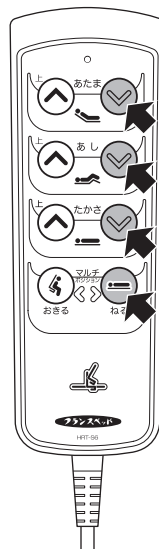
停電や故障で背や脚が上がったまま停止してしまったときは

- 上がっている背ボトムや脚ボトムをバッテリーにより水平位置に戻すことができます。
- バッテリーの残量がなくなると水平に戻せなくなりますので戻す操作のみに使用してください。(バッテリーのLED ランプ表示は、17 ページの「充電状態について」参照)

1. コントロールボックスに固定しているバッテリーの電源が入っていることを確認する
電源が入っていない場合は、電源を入れる



2. 手元スイッチでベッドの操作を行う



アフターサービスについて

■ 保証書および保証期間について

保証書

所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間中に修理を依頼される場合

保証書の記載内容に従って修理いたします。

保証期間を過ぎて修理を依頼する場合

修理すれば使用できる場合は、希望により有料で修理いたします。

■ 修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に取扱説明書をよく読み、再度点検の上、なお異常がある場合は、販売店または弊社お客様相談室へ連絡してください。

ご連絡いただきたい内容・・・住所、氏名、電話番号、型式名、販売店、
お買い上げ日、故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

■ お客様相談室

弊社の商品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら、販売店または弊社お客様相談室までお問い合わせください。

保証書

保証期間

1年間

お買い上げ日

年 月 日

お客様

ご芳名

〒 □ □ □ - □ □ □ □

ご住所

TEL

販売店

店名・住所

保証の対象

本体のみ行います。

保証の態様

(1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。

(2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。

(3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。

※ご注意 本保証書にお届け日、販売店名の記入の無き場合は、納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の適用除外

(1) 本保証書及び納品書又は領収書のご提示が無い場合。

(2) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。

(3) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。

(4) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。

(5) 火災、地震、風水害、落雷及びその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。

(6) 本製品の製造上に起因した欠陥であることを確認できない場合。

(7) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。

※ 上記項目については有償修理になります。

修理の記録

商品の名称

表紙に記載しています。

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

設置場所

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5

TEL 042(543)3111 (代表)

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。弊社製品は厳格な検査を経て納入いたしておりますが、万一不具合な点がございましたらお買い上げの販売店または弊社相談室にお問い合わせください。



0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時
土、日、祝祭日、年末、年始等は除く

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5